

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
鹿沼市	南摩地区（佐目町、油田町、下南摩町、西沢町、上南摩町）	令和3年 3月25日	令和6年 3月31日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	409.7ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	322.9ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	137.2ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	3.7ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	60.1ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考)	

注1：③の「○才以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。

注2：④の面積は、下記の「(参考) 中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。

注3：アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。

注4：プランには、話し合いに活用した地図を添付してください。

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・南摩地区は、一部を除き、多くの地域において基盤整備が実施されている。そのため担い手による耕作が盛んに行われており、耕作率は地区全体の過半を占め、集積率は高い。特に佐目町、油田町は集積率が7割を超える。一方で上南摩町は鳥獣被害の増加や基盤整備が未実施なこともあってか、集積率は3割弱となっている。 ・集積率は高いものの、今後、機械購入のコストの面などで単独での規模拡大が難しいことや後継者がいないことに対する課題があり、将来を見据えた集積・集約化を図る必要がある。

注：「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none"> ・集積率50%を超える佐目町、油田町、下南摩町、西沢町については、引き続き大規模生産法人を始めとした、担い手中心による営農が継続できるよう、計画的な集積・集約化を図る。 ・将来的に、個人での経営維持や規模拡大が難しくなるようであれば、複数の経営体による組織の立ち上げ等についても検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・上南摩町については、鳥獣害対策と併せて、基盤整備の是非や集落内において農地を維持していく方法の検討を進めていく。

注1： 中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2：「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。